

臨地実習生の質の確保のための看護系大学共用試験(CBT)の開発的研究

研究課題番号：20249084

代表者 2008年度～2010年度

[柳井 晴夫](#)

研究者番号：60010055
聖路加看護大学・看護学部・教授

研究分担者等

研究分担者

[井部 俊子](#)

研究者番号：50365839
聖路加看護大学・看護学部・教授

[亀井 智子](#)

研究者番号：80238443
聖路加看護大学・看護学部・教授

[及川 郁子](#)

研究者番号：90185174
聖路加看護大学・看護学部・教授

[片岡 弥恵子](#)

研究者番号：70297068
聖路加看護大学・看護学部・准教授

[麻原 きよみ](#)

研究者番号：80240795
聖路加看護大学・看護学部・教授

キーワード

[CBT](#)

[モニター調査](#)

[共用試験](#)

[困難度](#)

[持続力](#)

[臨地実習](#)

[論理的思考力](#)

[識別度](#)

この研究課題のドキュメント

2008年 [採択課題](#) [研究実績報告書](#)

2009年 [採択課題](#)

2010年 [採択課題](#)

研究課題基本情報（最新年度）

研究期間 2008年度～2010年度

研究分野 [基礎看護学](#)

審査区分 一般

研究種目 基盤研究(A)

研究機関 聖路加看護大学

配分額 総額：43030千円 2010年度：6630千円 (直接経費：5100千円, 間接経費：1530千円) 2009年度：21840千円 (直接経費：16800千円, 間接経費：5040千円) 2008年度：14560千円 (直接経費：11200千円, 間接経費：3360千円)

研究概要（最新報告）

看護師の養成過程においてきわめて重要な位置を占める臨地実習に入る段階の学生の質を一定水準に確保するために、看護系大学独自の立場から臨地実習前共用試験の試作問題を作成し、看護系大学学生にモニター調査を実施する。モニター調査の結果を統計的に分析し、各試作問題の難易度、識別度を調べ、適切な問題を選択し、CBT(Computer Based Testing)を開発し、作成されたCBTをいくつかの看護系大学で試験運用を行う。本年度(平成20年4月～21年3月)は、まず表記の計画について、全国看護系大学教員の意見を問うアンケート調査(悉皆調査)を行った。その内容は、共用試験の;(1)必要性の有無、(2)学生のどのような知識・能力・態度を測るべきか。(3)出題方法、問題数、時間数、問題の難易度。(4)実施時期、試験結果を進級にどのように反映させるか1807名の教員から回答が得られた。(回収率31.9%)。その結果、CBTによる臨地実習以前の共用試験の必要性については、「そう思う(35.7%)」「ややそう思う(49.6%)」とほぼ85%の教員が必要性を認めていた。実施までに検討すべき課題として、「モデル・コア・カリキュラムの導入」について、80%の教員が必要性を感じていた。さらに、2009年9月に実施するモニター試験問題を、基礎医学(生理学、解剖学、生化学、病理学、薬理学、微生物学)、基礎看護、臨床看護(小児、母性、老年、精神、在宅、地域)、看護管理、看護教育、生命倫理の領域別に全部で1400題の設問を作成した。本年9月までにこれらの設問を精選し、21の看護系大学学生1000名に、モニター調査を実施し、各設問の困難度、識別度を調べる。

このページのURI

<http://kaken.nii.ac.jp/ja/p/20249084>

[ヘルプ](#) [サービス概要](#) [よくある質問](#) [GeNii](#) [国立情報学研究所](#)

このサイトに掲載された情報に間違い等を発見された場合は[こちら](#)をご覧ください。

Copyright © 2005-2011 National Institute of Informatics All Rights Reserved.